

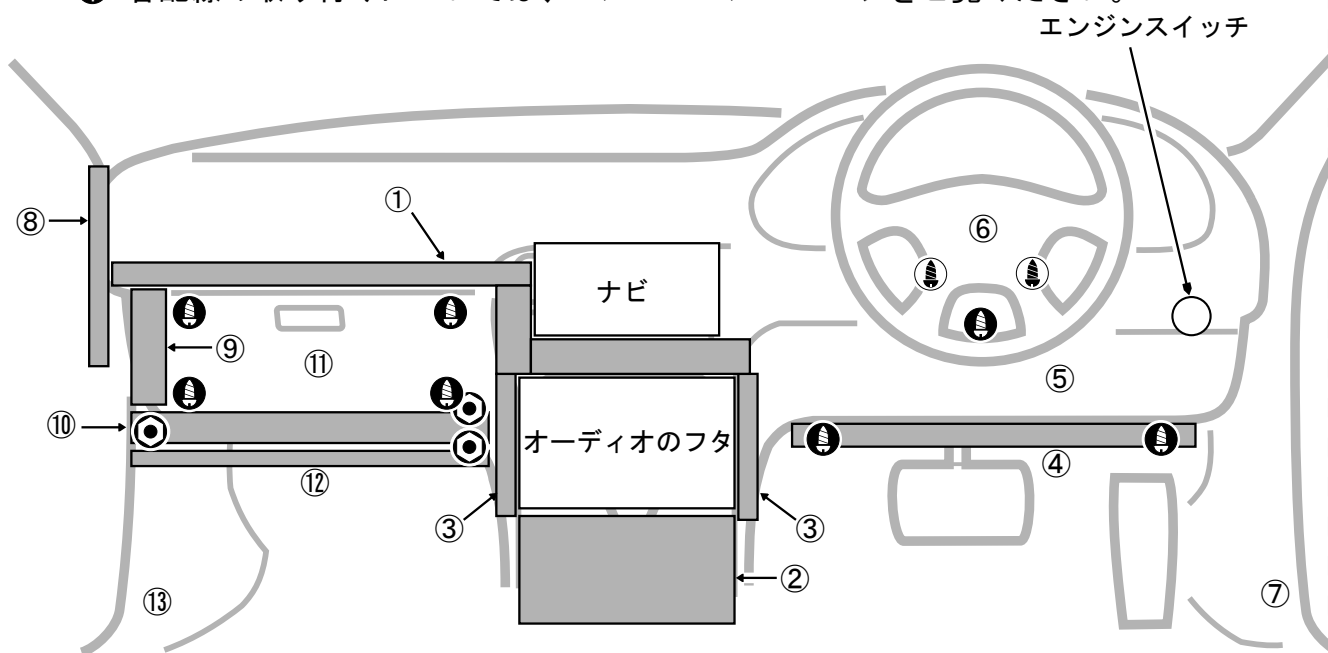
車種別取付資料

車両情報	トヨタ クラウン・クラウン ハイブリッド	S20#系	1/4ページ	ES-89Light	Type N.L.
	平成20年2月～	① プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車のみ			

① 取付作業を行う際はバッテリーのマイナス端子を外した上で行ってください。外さずに行うと故障の原因となることがあります。

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

① 各配線の取り付けについては、2/4～4/4ページをご覧ください。



- ① カバー類の取り外し方…中央（センター）付近**
- ①センター（ナビの下側）～助手席側までつながっているカバーを外す…手前に引っ張り、ツメを外す。
 - ②シフトレバー周囲から左側小物入れまで一体のカバーを外す
 - ③オーディオのフタの左右にある、サイドパネルを外す

- ① カバー類の取り外し方…運転席側**
- ④アンダーカバーを外す…ネジ2本。
 - ⑤ロアカバー（エンジンボタン周囲まで一体）を外す…手前に引っ張りカバーを外す。
※エンジンスイッチは、ロアカバー右上側になります。カバーにツメで固定されています。
 - ⑥コラムカバーを外す…ネジは下から1本と、ハンドルを回して左右正面に各1本。
 - ⑦右サイドステップから前方まで一体のカバーを外す
※右サイドカバーは、足下マットと一体になっています。サイドカバー内への配線作業時には、カバーをめくって作業スペースを確保してください。

- ① カバー類の取り外し方…助手席側**
- ⑧左サイドの細いパネルを外す…車両の左方向に引っ張り、ツメに注意して外す。
 - ⑨サイドパネル（グローブBOX左側）を外す
 - ⑩ニエエアバッグASSYを外す…ボルト3本。カプラ（黄色）は外さずに、エアバッグASSYを寄せて作業スペースを確保すること。
 - ⑪グローブBOXを外す…ネジ4本。
 - ⑫アンダーカバーを外す
 - ⑬左サイドステップから前方まで一体のカバーを外す
※左サイドカバーは、足下マットと一体になっています。サイドカバー内への配線作業時には、カバーをめくって作業スペースを確保してください。

① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

車種別取付資料

車両情報

トヨタ クラウン・クラウン ハイブリッド

S20#系

2/4ページ

ES-89Light **Type** N.L.

平成20年2月~

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 付き車のみ

Opt.

① 注意事項

- ・スマートキータイプのエンジンイモビライザーシステムが装着されています。
- ・取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのES-89ProLight II PSi (商品コード: ESL40) のみ。
- ・PSIOO4取付ハーネスを使用します。
- ・オートマチック車認識設定のあとスマートキーの登録作業が続けて必要になります。
- ・詳細は、取扱説明書を参照してください。

① CN2ハーネスの各配線の取り付けは3/4ページを、ドアロック/アンロックの取り付けは4/4ページを、セキュリティ機能等を使用する場合のドア検出配線方法は4/4ページをそれぞれ参照してください。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。(3/4ページ参照)

オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (専用ハーネスの配線色)

車両配線色

止めネジ等

 ナット ビス 隠れビス

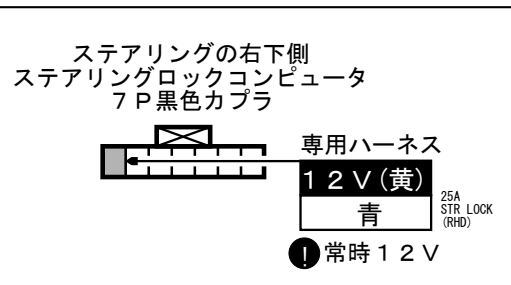
フットブレーキ上側
4P緑色カプラ

専用ハーネス
STOP出力(青)
 赤

① 通常時: 0Vで、フットブレーキを踏んだとき: 12V

専用ハーネス
 T133S

① 取り付け方法



エンジンスイッチの裏側
14P黒色カプラ

専用ハーネス
 14Pコネクタを割込接続

スマートキーコンピュータの下側
36P白色カプラ

イモビハーネス
 36P中継コネクタを割込接続

① スマートキーコンピュータASSYの36P白色カプラに、イモビハーネスの36P中継コネクタを割込接続する。

① 専用ハーネスのアース(黒)取り付け位置: ロアカバーを外して、右側正面のボルトに共締めしてください。

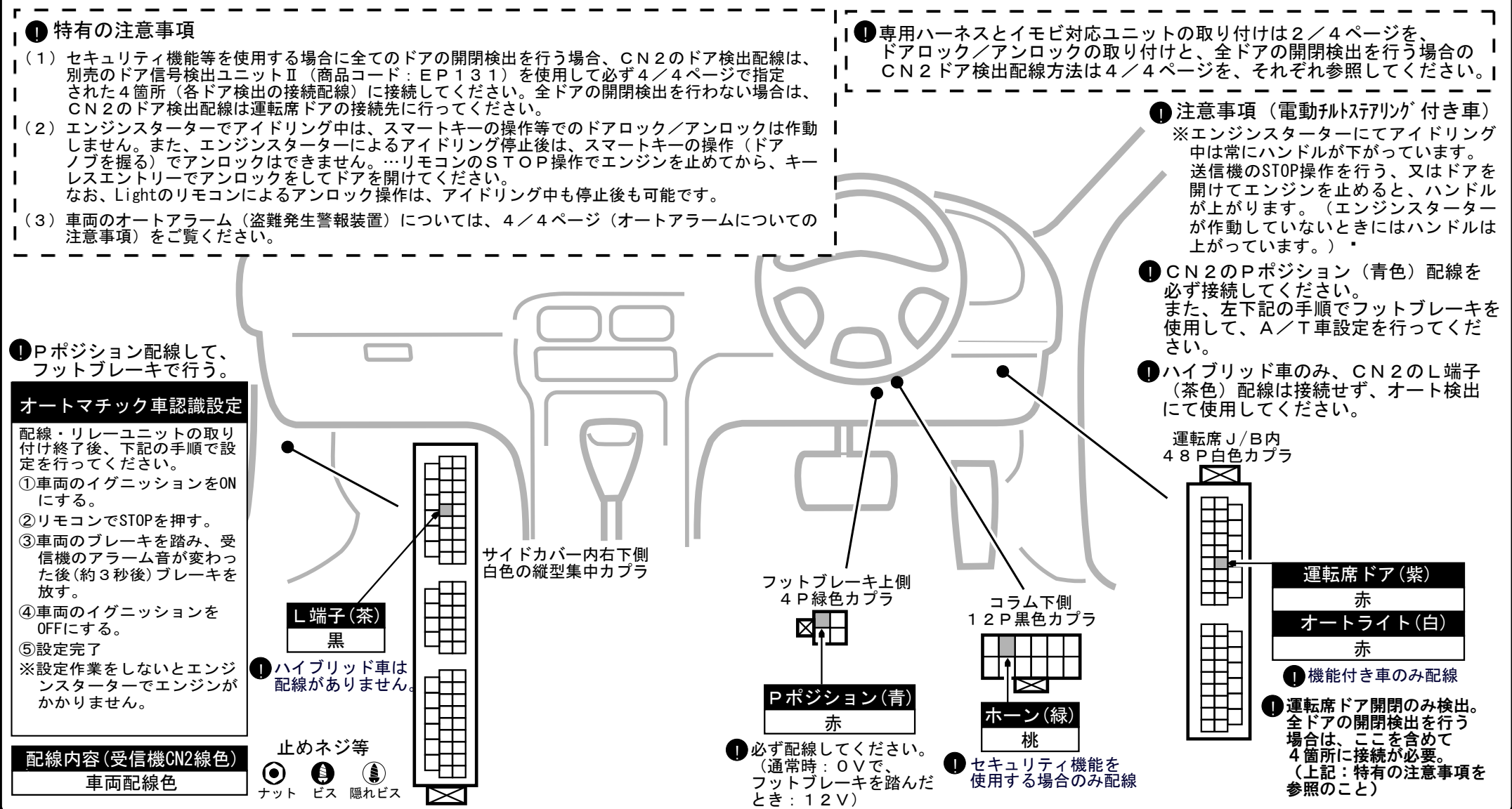
- ① 専用ハーネスの14P中継コネクタを、上記のカプラに割込接続する。
- ② イモビハーネスを上記の36Pカプラに割込接続する。
- ③ 黄色/青色の2本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。)
- ④ アース(黒色)を、指定位置に固定する。
- ⑤ 12P赤色コネクタをリレーユニット(受信機)のCN1に接続する。
- ⑥ 3Pコネクタをイモビハーネスの3Pへ、6PコネクタをCN-3からの6Pカプラに接続する。

① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

車種別取付資料

平成23年11月 1日 作成
BOX No. 500341

車両情報	① 特有の注意事項 (1) セキュリティ機能等を使用する場合に全てのドアの開閉検出を行う場合、CN2のドア検出配線は、別売のドア信号検出ユニットII (商品コード: EP131) を使用して必ず4/4ページで指定された4箇所 (各ドア検出の接続配線) に接続してください。全ドアの開閉検出を行わない場合は、CN2のドア検出配線は運転席ドアの接続先に行ってください。 (2) エンジンスターターでアイドリング中は、スマートキーの操作等でのドアロック/アンロックは作動しません。また、エンジンスターターによるアイドリング停止後は、スマートキーの操作 (ドアノブを握る) でアンロックはできません。…リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、キースエントリーでアンロックをしてドアを開けてください。 なお、Lightのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も可能です。 (3) 車両のオートアラーム (盗難発生警報装置) については、4/4ページ (オートアラームについての注意事項) をご覧ください。	② Pポジション配線して、フットブレーキで行う。 オートマチック車認識設定 配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。 ① 車両のイグニッションをONにする。 ② リモコンでSTOPを押す。 ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) ブレーキを放す。 ④ 車両のイグニッションをOFFにする。 ⑤ 設定完了 ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。	③ 注意事項 (電動フルステアリング付き車) ※エンジンスターターにてアイドリング中は常にハンドルが下がっています。送信機のSTOP操作を行う、又はドアを開けてエンジンを止めると、ハンドルが上がります。(エンジンスターターが作動していないときにはハンドルが上がっています。) ④ CN2のPポジション (青色) 配線を必ず接続してください。また、左下記の手順でフットブレーキを使用して、A/T車設定を行ってください。 ⑤ ハイブリッド車のみ、CN2のL端子 (茶色) 配線は接続せず、オート検出にて使用してください。	トヨタ クラウン・クラウン ハイブリッド S20#系 3/4ページ ES-89Light Type N.L. Opt.
------	--	---	---	--



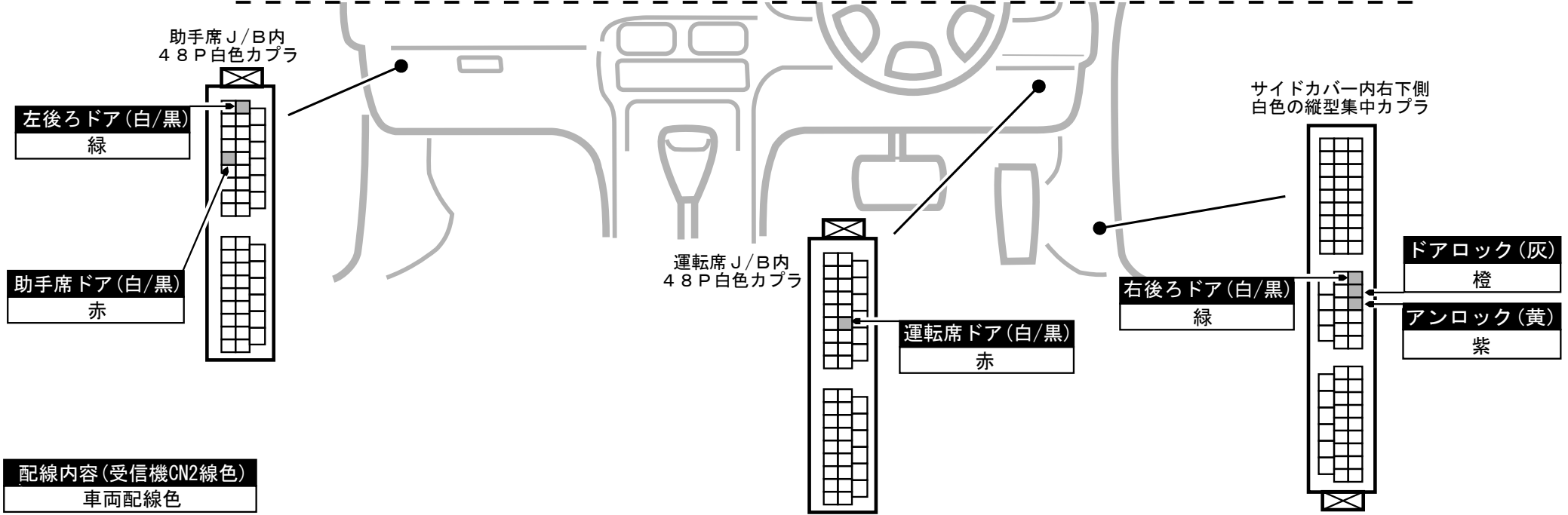
車種別取付資料

車両情報	トヨタ クラウン・クラウン ハイブリッド	S20#系	4/4ページ	ES-89Light	Type N.L.
	平成20年2月~	① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 付き車のみ			Opt. ドア検出ユニットII (EP131)

① セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合は、別売のドア信号検出ユニットII (商品コード: EP131) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記の4箇所に分岐接続してください。

① オートアラームについての注意事項

- ・車両に装着されているオートアラーム (盗難発生警報装置) は、エンジンスターターでのロック/アンロック操作では、セット/解除されません。但し、生産時期が平成20年7月以降の車両では、セット/解除される場合もあります。…基本的には、エンジンスターターのリモコン操作でドアロック/アンロックを行い、エンジンスターターのセキュリティ機能を使用してください。
- ・車両のオートアラームを使用する場合のみ、必ず車両のスマートキー等でロック/アンロック操作を行い、セット/解除を行ってください。
- ・また、オートアラームをセットしてからエンジンスターターでアイドリングを行う場合は、必ず降車時に車両の進入センサーOFFスイッチを押して、侵入センサーが作動しないようにしてください。…侵入センサーをOFFにしなかった場合、エンジンスターターで始動時にオートアラームが作動することがあります。
- ・オートアラームをセットして警戒中 (駐車時)、リモコンによるエンジン始動を行いそのアイドリングが終了してエンジンが停止後は、オートアラームの警戒は解除状態になります。…エンジン停止後は、オートアラームは自動的に警戒に復帰はしません。(セットされません)
- ・オートアラームとエンジンスターターのセキュリティ機能は、併用 (同時に使用) しないでください。…誤動作の恐れがあります。



① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。